



みどりの街なみ整備について

本間 隆 議員(民主)

①放置自転車で乱れていた国道沿いの歩道空間が、国土交通省、区、地域ボランティア団体の三者による協定で季節の草花の花壇に変わった。区はボランティア、NPO法人等との連携・協力のしくみづくりを構築する方針を示している。みどり花のボランティアの現状と今後について等は。②マイガーデンは気分よく楽しめて、周辺の人々からも親しまれるなどの配慮が必要だ。現況等を伺う。③勝島運河の花海道の現況などは。④立会川の護岸についての現況等は。

まちづくり事業部長 ①71団体、845名の方が登録し活動している。清掃道具や花の苗の支給を行うなど側面から支援し、今後も拡大する。②現在、東五反田で12区画の貸し出しを行っており、平成20年2月には南大井のみなみ児童遊園の一部において55区画を提供する予定だ。適地があれば拡大を検討する。③花海道

だけでなく、ジャコウアゲハの蝶の道プロジェクトなど、地域をあげての取り組みが進んでいる。④溶岩パネル等の設置も完了し、地域の方々の完成記念の式典が行われた。

経緯等は。①評価された内容。③高齢者向け優良賃貸住宅制度を活用した、介護保険サービスの特定施設入居者生活介護が行われるが、特徴等は。福祉高齢事業部長 ①町会長会議等への説明や区ホームページでのパブリックコメントの実施等で意見を伺い、防災備蓄倉庫の設置などの防災機能の充実等を、計画に反映させた。②指定手続きに準じ公募を行い、4事業者を選定委員会で審査し決定した。③法人の運営実績などだ。④生活の場として特別養護老人ホームの居室基準を上回る豊かな個人空間が確保されることなどが特徴だ。

学校施設跡地の活用について ①小中一貫校、伊藤学園が開設された。そして旧原小学校跡地の、利用計画案の概要がほぼ決まった。区民の声をどのように受けとめ反映させたのか。②ケアホームと幼児保育一元施設は、同一法人による複合的な運営をめざして指定管理者が決定された。⑦その

八潮地域の街づくりについて ①八潮団地は全体を一つの都市計画施設として定めている。都市計画の見直しについて、取り組みなどは。②まちづくり検討会の部会における取り組み状況は。③地域のアンケート調査で1位に挙げられた高齢者対策についての考えは。④品川総合福祉センターとの関係は。区長 ①現在の良好な居住環境を引き続き保全していく内容を地区計画に盛り込む方向で、都と協議を進めている。学校施設跡地の転用が良好な居住環境の保全との趣旨に反しないか検証する。②検討委員会としての意見を取りまとめ、区への提言を行う予定と伺っている。③検討委員会からの提言等を踏まえつつ具体的な検討を進める。④具体的な方向性を整理する。

教育について ①区独自採用教員、区内留学教員を受け入れる学校の体制への指導は。②校長の学校経営に対する教育長のリーダーシップが必要なのは。③教育委員会の「適正規模は生徒の数が少ないから学校を無くすわけではない」との考

耐震化について ①策定中の耐震改修促進計画では、平成27年度までに区全域の住宅の耐震化率の目標を90%としているが、実現への決意は。②木造住宅の建てかえ支援を対象地域以外へ拡大しては。③区で支援するすべての木造住宅に、住宅品質確保促進法による10年保証をつけては。④区内の建築士などと施工方法を協議し品川版施工マニュアルを作成するなど、安価で安心できるシエルトの住宅改修が可能では。区長 ①高い目標値だが、達成に向け努力をする。②制度の導入効果を踏まえ検討課題とする。③建てかえ支援の要件とするか検討する。④都では安価で信頼できる耐震改修工法や装置の公募等を行っており、区の支援も都が選定した工法や装置を対象とする予定だ。設置に際しては区内関係業者の協力が不可欠であり協力体制を構築する。

成年後見制度について ①パンフレットをわかりやすくしては。②研修会へ講師として参加し積極的な普及啓発をしては。③社会福祉協議会が法人後見を行うメリットは。個人後見との違いは。④区長申立ての実績は。⑤地域の事業者や公証役場と連携し不動産売買の公正証書の活用には。福祉高齢事業部長 ①改訂

に賛成だが見解は。④特色ある学校教育には、各学校が特色をしっかりと打ち出し実現すべきでは。⑤公教育への信頼について決意は。教育長 ①区独自採用教員受け入れ校へは、校長の学校経営方針等とその活用方法を明確に位置づけるよう指導する。区内留学教員受け入れ校へは研修で習得する技能を明確にさせるなどだ。②毎月の校長連絡会での講話や重点支援校への訪問で、発想や改善のヒントを提供するなど指導している。③すべてのプロックで異なるタイプの学校から学校選択が実現できるように、検討を進める予定だ。④子どもの実態等に応じた特色ある学校づくりを支援していく。⑤保護者や区民の期待に応える公立学校づくりに邁進する。

平成19年第4回定例会 意見の分かれた議案

Table with 7 columns: Item Name, Self (11), Public (8), Communist (7), Democratic (6), None (4), No (2), Net (2), and Decision. Rows include: 一般職の任期付職員の採用に関する条例 (Decision: 可決), 学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 (Decision: 可決), 区立学校設置条例 (Decision: 可決), 出産祝い金条例 (Decision: 否決).

○:賛成、×:反対、( )内は所属議員数

平成17年度海外調査団からの提言について ①調査団が一体となり報告書を作成し、区へ提言を行った。新聞社からもよく出来ているとの言葉を頂いた、この報告書への評価は。②提言の取り組みの展開について⑦幼稚園、保育園と小学校との連携は。①小規模・多機能の預かり保育の充実。②授乳室、オムツを替えられる部屋の整備は。③保育園児の朝食のあり方は。④顧客満足度の調査は。③今後、施策の展開が図られる内容は。児童保健事業部長 ①少子化対策に関する効果的な事業等が数多く提案されている。②成果発表会の開催を予定し、成果を踏まえ拡大する。③新たな短時間就労支援型の保育室として制度化を検討する。④気楽に立ち寄れる乳幼児施設としての機能を充実し支援事業を実施する。⑤家族そろって朝ごはん運動を実施している。⑥第三者評価におけるアンケートの結果等を活用した園運営の改善など取り組んでいる。⑦企業との連携によるワークライフバランスの推進など、提言の趣旨を生かした施策の充実に努める。



石田 秀男 議員(自民)

えに賛成だが見解は。④特色ある学校教育には、各学校が特色をしっかりと打ち出し実現すべきでは。⑤公教育への信頼について決意は。